

第三章 文書・記録／典籍／書状編

文書・記録類は全部で569点あり、全国測量に関して編述された日記や測量結果の記録類を主とする冊子物と、測量実施、測量方法、測量結果に関する覚書類や忠敬の身分に関する文書などからなる「紙物」からなり、忠敬の全国測量の行程や観測記録などに関する基礎資料となるものである。

典籍類は全528点あり、忠敬が学んだ天文曆学書、測量書、和算書や測量にかかわるなかで集めた地理書がある。なかでも天文曆学書が充実し、『曆象考成後編』（忠敬自筆写本）や『ラランデ曆書管見』（一部忠敬自筆写本）など当時最新の天文曆学書が含まれている。

書状類は全398点あり、忠敬の直筆書状、忠敬の親族の書状、忠敬の上司である高橋至時、景保親子の書状、忠敬の知友の書状、諸藩の役人の書状などがある。なかでも、娘イネに宛てた自筆書状がまとまって残されており、忠敬の心情、性格を伝えてその人間像を理解するうえで資料価値が高い。